

老年看護援助論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・吹田夕起子

科目担当者（職位・氏名）：講師・齋藤史枝、助教・新沼伸子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：67

■ 授業概要

加齢に伴う身体、心理、社会的変化の理解を基盤として、高齢者に対するヘルスアセスメントのポイントについて教授する。高齢者の生活を支える諸制度および社会資源、ヘルスプロモーションについて理解を深め、健康生活を支援する基礎的知識を教授する。また、認知症などについて理解を深めることにより高齢者と介護家族に対する看護方法について基礎的能力を育成するとともに、高齢者看護におけるチーム活動の重要性について教授する。さらに、高齢者への意思決定支援とエンドオブライフケア、倫理的課題について教授する。

■ 到達目標

1. 高齢者に特徴的な加齢変化とヘルスアセスメントのポイントについて説明できる。
2. 高齢者の生活を支える諸制度および社会資源について説明できる。
3. 高齢者を対象としたヘルスプロモーションの重要性を理解し、看護介入方法を考えることができる。
4. 認知症高齢者および介護家族へのケアについて説明できる。
5. 高齢者への意思決定支援とエンドオブライフケアについて説明できる。
6. 高齢者の倫理的課題について考察できる。

■ 教育内容

老年看護学、個人・家族・集団・組織の支援

■ キーワード

高齢者の特徴、ヘルスプロモーション、老年期によくみられる症候・疾患、社会資源

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	高齢者の包括的アセスメント	高齢者の健康状態のアセスメント、高齢者の自立を妨げる要因、高齢者と家族との関係（講義）	吹田
2	高齢者疑似体験	高齢者疑似体験セットを装着して高齢者の日常生活を体験する（演習）	共同
3	高齢者の特徴と高齢者への支援	高齢者疑似体験をとおして高齢者の特徴と高齢者への支援、生活環境について考える（グループワーク・演習）	共同
4	高齢者の生活を支える看護 （コミュニケーション）	高齢者のコミュニケーションの特徴と援助、コミュニケーション障害（講義）	吹田
5	高齢者の生活を支える看護 （食生活、セクシャリティ、住まい、社会参加）	高齢者の食事の特徴、高齢者にとっての性（セクシャリティ）、安全な住環境、高齢者の社会参加（講義）	吹田
6	治療を受ける高齢者の看護 （診察・検査、薬物療法、手術療法）	診察・検査を受ける高齢者の看護、薬物療法、手術療法（講義）	齋藤
7	治療を受ける高齢者の看護 （リハビリテーション、退院支援）	高齢者のリハビリテーション、退院支援、退院調整、チームアプローチ（講義）	新沼
8	高齢者のヘルスプロモーション	生活習慣病予防、介護予防、転倒予防（講義）	齋藤
9	高齢者のヘルスプロモーションの実際	ヘルスプロモーションプログラムの作成・共有（演習）	共同
10	高齢者によくみられる症候・疾患 （うつ、せん妄、認知症）	高齢者のうつ、せん妄、認知症の特徴と看護（講義）	吹田
11	高齢者によくみられる症候・疾患 （認知症）	認知症をもつ高齢者の看護（講義）	吹田
12	高齢者によくみられる症候・疾患 （脳血管疾患、パーキンソン病）	脳血管障害、パーキンソン病の看護（講義）	吹田

13	終末期看護	高齢者の意思決定支援とエンドオブライフケア（講義）	齋藤
14	地域包括ケアシステムと高齢者を支える社会資源	地域包括ケアシステム、デイサービス、デイケア、地域密着型サービス（講義）	吹田
15	多様な生活の場における看護	介護保険施設の特徴と看護（講義）	吹田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

試験 80%、課題レポート 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

試験後にクラス全体の到達状況及び平均点を周知します。希望者に対して試験のフィードバックを行いますので、事前にアポイントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
老年看護学 ① 高齢者看護の健康と障害
老年看護学 ② 高齢者看護の実践

■ 参考書・参考資料等

- ・真田弘美、正木治恵編（2023）『老年看護学技術 改訂第4版 最後までその人らしく生きること
を支援する』南江堂
- ・北川公子他著（2025）『系統看護学講座－専門分野 老年看護学 第10版』医学書院
- ・鳥羽研二他著（2025）『系統看護学講座－専門分野 老年看護 病態・疾患論 第6版』医学書院

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修として計 180 分程度必要とする。
- ・講義の事前学修として、指定された範囲の教科書を読み、内容をまとめる。
- ・配布する事前学修課題について講義前までに内容をまとめる。
- ・事後学習として提示された学修課題は指定された日までにまとめ提出する。

■ 担当教員からのメッセージ

高齢者に対する専門的看護に関する知識を学びます。しっかり学修しましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

各担当教員にて提示します。

オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問のこと。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

看護師として医療機関、地域サービスで行った看護実践の中から具体的例を用いて説明します。